



広報

ほふく救急 上球磨

No.96

令和4年11月



九州地区消防救助技術指導大会	2
全国消防救助技術大会入賞	3
防災消防航空隊と合同訓練	4
ドローン導入	4
お使いの建物は消防法令違反かも?	5
岩下兄弟(株)より公用車寄贈	6
新人紹介	6

消防救助技術
ほふく救急

火災・救急・救助は119番



競技が始まり先に塔下で待つ福本隊員と塔上から降下する深松隊員

全国大会を目指して

第50回九州地区消防救助技術指導会

隊員の技術の向上と士気の高揚を

目的に、九州地区消防救助技術指導

会が7月22日に長崎県で開かれ、

「引揚救助の部」に熊本県代表とし

て5人が出場しました。

引揚救助とは5人1組（要救助者

を含む）で行い、地下やマンホール

などに転落した要救助者を地上へ救

出することを想定した訓練です。

チームをけん引したリーダーの福

本雄太消防副士長は「全国大会には

出場できなかったが、今後も技術の

向上を目指して、住民の皆様の生

命、身体、財産を一層守れるように

頑張りたい」と話していました。

福本隊員チーム

右側から

三番員 深松 勇貴

四番員 田山 裕貴

一番員 湯山 倫樹

要救助者 和泉 達也

二番員 福本 雄太





目標の入賞を達成し喜び安堵する隊員たち 次回の目標は全国制覇

消防技術を全国で披露

全国消防救助技術大会(水上の部)入賞

全国消防救助技術大会が8月26日

に東京消防庁立川消防署で開かれ、

4人が水上の部に出場して入賞を果

たしました。

同大会は日本全国から選抜かれ

た隊員が集まって消防救助技術を競

い合うもので「陸上の部」(8種目)、

「水上の部」(8種目)があります。

当組合が出場した「水中検索救助」

という部門は、救助者4人が協力し

て水没している要救助者を捜索・救

出する技術を競うもので、チームリ

ーダーの郷峻太消防副士長は「入賞

という目標を達成できて嬉しい。全

国大会の緊張感や雰囲気の後輩職員

にも伝えていきたい」と話していま

した。

郷隊員チーム

上写真は右側から

二番員 郷 峻太

一番員 村山 尚瞳

三番員 幸野 成彬

四番員 猪口 大二郎



訓練開始前の隊員たち

山岳事故への対応力高める

防災消防航空隊と合同訓練

熊本県防災消防航空隊（防災ヘリ

秋の行楽シーズンは山に入る機会

ひばり）との合同訓練を8月24日に

が増え、遭難や怪我などの事故も増

あさぎり町の白髪岳で行いました。

えます。いざ災害が起きたとき、迅

訓練は①火災現場の偵察②ヘリに

速確実な活動ができるように、今後

よる空中消火③現場への隊員投入④

もさまざまな災害を想定して訓練し

負傷者のヘリ輸送という内容でし

ます。



上空の防災ヘリからの隊員投入

被害防止・人命救助の一助に

ドローンを導入

災害時の状況把握や助けを求めて

いる人の発見など、被害の拡大防止

や人命救助に活用するため「球磨川

水系防災・減災ソフト対策等交付金」

を活用して、今年8月にドローン1

機を導入しました。

防水機能はないものの、小型軽量

で持ち運びやすく、災害現場です

ぐに展開できます。正確な位置を測

定できるGPSも搭載していて、捜

索など場所の特定にも活用できま

す。

ドローン (DJI AIR2S) スペック

・離陸重量 595g

・最大飛行時間 (無風) 31分

・最大飛行距離 (無風) 18,5km

・運用限界高度 (海拔) 5000m

・最大風圧抵抗 10,7m/s

・サイズ (展開時)

183mm × 253mm × 77mm



ドローンからの消防本部撮影



操作訓練中

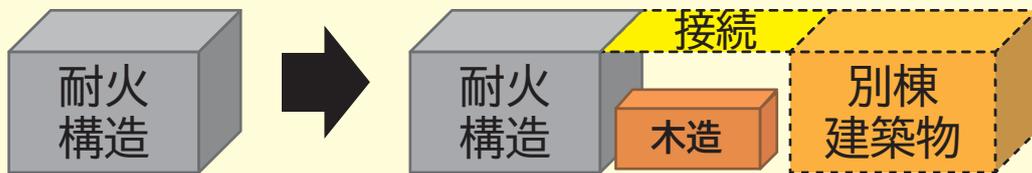
お使いの建物は消防法令違反かも？



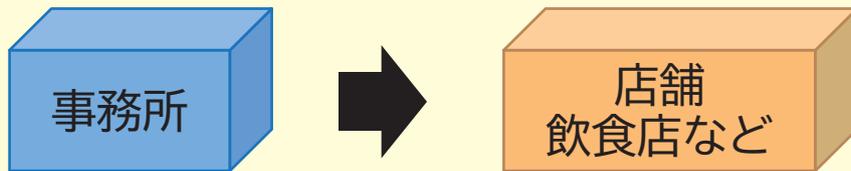
建築物の増改築や用途変更、消防用設備等を変更する場合は、計画段階で事前に相談してください。

(1) 建築物を増改築する場合

例：耐火構造の建築物に木造の建築物を増築する場合
窓や出入口を塞いだり物を置く場合や内装材を変更する場合
棟同士を軒、庇などで接続したことで1つの棟となる場合



(2) 建築物の全部又は一部の用途を変更する場合（テナントの一部を変更する場合も該当）



(3) 消防用設備等の位置・構造・設備を変更する場合



消防用設備等とは…
消火器・自動火災報知設備・
屋内消火栓設備・スプリンク
ラー設備・誘導灯などです。



事前の届出や、新たに消防用設備等の設置が必要となる場合があります。

上球磨消防組合消防本部
予防課 0966-42-3184



まずはご相談
ください。

地域防災に役立てて 岩下兄弟(株)が公用車寄贈

8月12日に消防本部で公用車寄贈式が開かれ、岩下兄弟株式会社から岩下洋三代表取締役社長から中嶽弘継組合長に寄贈車のレプリカキーが贈呈されました。

同社は地域防災のために、これまでも車両を寄贈して今回で5台目。中嶽組合長は「これまででも多くの車両を寄贈いただき感謝している。多方面で活用し、地域防災に役立てたい」と感謝状を贈呈しました。



寄贈車の前でレプリカキーを渡される
(右)岩下洋三代表取締役と(左)中嶽組合長

新人紹介



やました ふわと
山下 芙和人(19才)
(あさぎり町)

私が消防士を目指した理由は、幼い頃からの憧れと人を救う仕事がしたいという気持ちがあったからです。今後は現場に出る事を意識し訓練を全力で頑張ります。



とちはら たくま
栃原 巧真(22才)
(あさぎり町)

私は高校生の時の職場体験で上球磨消防組合に来た際、消防職員が地域住民を火災や命の危機から守るために日々一生懸命訓練している姿を見て、私もこの人たちと一緒に上球磨の景観や人々を守りたいと思って入署しました。精一杯頑張ります。



たざわ たいが
田澤 太我(23才)
(多良木町)

私が消防士を志した理由は祖父が消防士だったからです。非番日であっても筋トレやランニングをして、いつでも災害に対応できる準備を整えていた祖父は本当にかっこよかったです。今後は、私も祖父のように皆から信頼される消防士になります。

編集後記

半年間の初任科教育訓練を終え、10月に3人の消防士が仲間入りしました。半年前とは見違えるほど遅く、凛々しく成長しました。地域住民の生命、財産を守ってくれると期待しています。



96号の表紙

県大会へ向け訓練に励む隊員たち。ほふく救出は2人1組で煙道内を検索し、要救助者を救出する競技。

総務課 42-3191・警防課 42-3183・通信指令課 42-3181
予防課 42-3184・消防課 42-3189・東分署 47-8119
令和4年11月発行 NO.96
発行/上球磨消防組合消防本部 <https://www.kmkm119.jp> 〒868-0501 熊本県球磨郡多良木町大字多良木3146-1 TEL(0966)42-3181